



RECORDER

POCKETRAK

PR7

Owner's Manual
Bedienungsanleitung
Mode d'emploi
Manual de instrucciones
Manuale di istruzioni
Руководство пользователя
使用说明书
取扱説明書

EN
DE
FR
ES
IT
RU
ZH
JA

ENGLISH

DEUTSCH

FRANÇAIS

ESPAÑOL

ITALIANO

РУССКИЙ

中文

日本語

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。


	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「危険」「警告」「注意」について

以下、誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」、「警告」、「注意」に区分して掲載しています。

 **危険** この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が切迫して生じる」内容です。

 **警告** この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本機について

危険

使用時の注意



運転中は使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら、本機を操作したり、ヘッドフォンやイヤホンなどを使用すると、交通事故の原因になります。

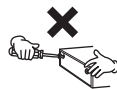
警告

分解禁止



本機の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



本機の近くに花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

異常に気づいたら



本機を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源を切る。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーンの近くなど極端に温度が高くなること、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本機のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない。
本機が落下して故障したり、お客様や他の方がけがをしたりする原因になります。

使用時の注意



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンやイヤフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



禁止

本機の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本機が破損したり、お客様や他の方がけがをしたりする原因になります。

電池について

⚠ 危険



必ず実行

電池の液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける。

異常状態のまま使用し続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因になります。液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因になります。

⚠ 警告



禁止

電池を長時間入れたままにしない。
本機を長時間（1週間程度）使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。



禁止

電池を変形、分解、改造しない。
変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因になります。



禁止

電池のプラスとマイナス（+と-）を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因になります。



禁止

電池を火の中に入れて、加熱したりしない。
絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因になります。



禁止

電池の外装をはがしたり、傷つたりしない。
外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。



必ず実行

電池を指示どおりに入れる。
電池のプラスとマイナス（+と-）に注意し、指示どおりに入れてください。
万一極性を逆に入れた場合、異常な電流が流れて、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。



必ず実行

電池は必ず指定のものを使用する。
指定（同一型名または同等品）以外の電池に交換しないでください。指定以外の電池を使用すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。



禁止

電池は子供の手が届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。誤って電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



使い切った電池はすぐに機器から取り出す。

必ず実行

使い切った電池を機器に接続したまま長期放置すると、電池から発生するガスにより、電池の液漏れ、発熱、破裂や、この機器を損傷するおそれがあります。



電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。

必ず実行

他の電池や金属製のものと混ざると、液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

注記（ご使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色 / 変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 機器の周囲温度が極端に変化して（機器の移動時や急激な冷暖房下など）、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- 使用後は、必ず電源をオフにしましょう。

■ データの保存に関する注意

- 保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはコンピューターなどの外部機器にバックアップされることをおすすめします。

■ microSD カードの取り扱いに関する注意

- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違えると microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。

- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。
- 本体の電源を入れたまま microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 静電気や電氣的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障や内部データ消失の原因になります。
- microSD カードは、小さなお子様のように届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがあるので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。

お知らせ

- * ヤマハおよび第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家に相談されるなどのご配慮をお願いします。
- * この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。（VCCI-B）
- * この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて解説説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- * Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- * Mac または Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- * microSD ロゴ、および microSDHC ロゴは商標です。



- * 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

目次

はじめに	189
付属品	189
ダウンロードソフトウェアについて	190
取扱説明書について	190
各部の名称	191
電池と microSD カード (別売) の入れかた ..	192
電源のオン / オフ	192
日時の設定	192
ディスプレイの見かた	193
ホーム画面	193
ボタン操作を無効にする	193
録音 / 再生	194
録音フォーマット (音質) の変更	195
録音先の変更	196
雑音の軽減	198
録音プリセットの選択	199
オーバーダビング (重ね録り)	199
マーカーの追加 / 削除	200
リピート (繰り返し) 再生	200
再生速度の変更	201
チューナー	201
メトロノーム	202
ファイルの削除	203
ファイルの分割	204
ファイルの複製	204
ファイルの移動	205
ファイルの分割、削除、移動時のルール ..	206
コンピューターとの接続	206
システム設定	207
困ったときは	209
エラーメッセージ一覧	210
主な仕様	211
アフターサービス	212
保証書	214

はじめに

このたびはヤマハ レコーダー POCKETRAK PR7 (ポケットトラック PR7) をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。PR7 は音楽用途に最適なレコーダーです。一般的な録音 / 再生に加えて、重ね録り (オーバーダビング) や繰り返し再生 (リピート機能)、再生スピードの調節など、便利な機能を簡単な操作で使用できます。PR7 の優れた機能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

付属品

- ・ 単 4 形アルカリ乾電池 (1)
- ・ USB ケーブル (1)
- ・ 取扱説明書 (本書:保証書付) (1)
- ・ ソフトウェアダウンロード用ライセンスコード (1) (裏表紙に記載)

ダウンロードソフトウェアについて

本機には、音声ファイルを編集するための波形編集ソフトウェア WaveLab LE をダウンロードできるアクセスコードが付属しています。インターネットに接続したコンピューターでダウンロードしてインストールすることで、本機で録音したデータをさらに編集できます。ダウンロードソフトウェアの詳細については、ヤマハプロオーディオウェブサイトをご参照ください。
<http://www.yamahaproaudio.com/pr7/>

取扱説明書について

取扱説明書（本書）

主に基本的な操作方法を説明しています。

リファレンスマニュアル

（本機の内蔵メモリーに収録）

詳しい操作方法やパラメーターの詳細を説明しています。このファイルは、コンピューターでご覧いただく PDF 形式です。コンピューターにファイルをコピーしたあと、閲覧ソフトウェアとして「Adobe® Reader®」を使ってご参照ください。用語検索や、クリックしたページを表示するリンク機能は、電子ファイルならではの便利な機能です。ぜひご活用ください。

最新の Adobe Reader は下記のウェブサイトよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/jp/>

リファレンスマニュアルのコピー

リファレンスマニュアルは本機の内蔵メモリーにある「MANUAL」フォルダーに収録されています。コンピューターにコピーする手順は次のとおりです。

1. 本機とコンピューターを付属の USB ケーブルで接続します。
2. 本機が USB デバイスとして認識されたら、「PR7」をダブルクリックして MANUAL フォルダーを開きます。
「PR7_RM_JA.pdf」というファイルがリファレンスマニュアルです。
3. デスクトップなどにドラッグ&ドロップしてコピーします。
4. Adobe Readerなどで開きます。

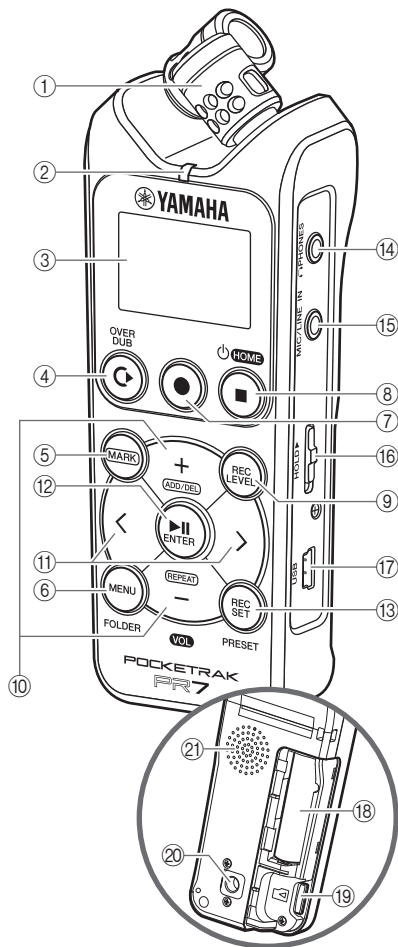
コンピューターとの接続について、詳しくは 206 ページをご参照ください。

NOTE

- 内蔵メモリーの MANUAL フォルダーやリファレンスマニュアルを誤って削除したときは、内蔵メモリーをフォーマット（初期化）すると MANUAL フォルダーが自動的に作られます。
- リファレンスマニュアルは、下記のヤマハプロオーディオウェブサイトからもダウンロードできます。
<http://www.yamahaproaudio.com/pr7/>

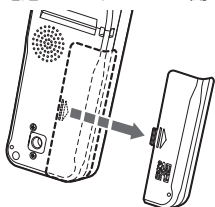
各部の名称

- ① 内蔵マイク
- ② REC LED
- ③ ディスプレイ
- ④ [OVERDUB](オーバーダビング) ボタン
- ⑤ [MARK](マーカー) ボタン
- ⑥ [MENU](メニュー) ボタン
(長押しで FOLDER (フォルダー) 画面表示)
- ⑦ [●](録音) ボタン
- ⑧ [■](停止) ボタン
(電源オン/長押しで電源オフ)
- ⑨ [REC LEVEL](録音レベル) ボタン
- ⑩ [+]/[-] キー
- ⑪ [<]/>] キー
- ⑫ [▶||](再生) ボタン
- ⑬ [REC SET](録音設定) ボタン
(長押しで PRESET (プリセット) 画面表示)
- ⑭ PHONES (ヘッドフォン) 端子
- ⑮ MIC/LINE IN (外部入力) 端子
- ⑯ HOLD (ホールド) スイッチ
- ⑰ USB 端子
- ⑱ 電池スロット
- ⑲ microSD スロット
- ⑳ スタンド穴
- ㉑ スピーカー

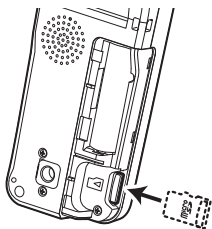


電池と microSD カード (別売) の入れかた

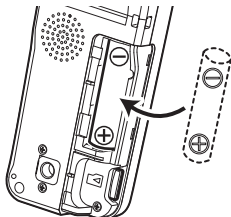
1. 電池スロットのふたを開ける



2. microSD カードを入れる



3. 電池を入れる (単4形アルカリ乾電池1本 または単4形ニッケル水素電池1本)



4. ふたを閉じる

電源のオン / オフ

電源オン

[■] (停止) ボタンを押す



電源オフ

停止中に [■] (停止) ボタンを
3秒以上長押しする

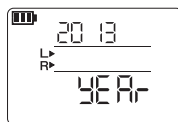
NOTE

録音中 / 再生中以外するとき、無操作で一定時間を過ぎると、自動的に電源オフになります。

日時の設定

はじめて電源オンにしたときの設定方法

1. [+]/[-]キーで年を選択 → [▶||] (再生) ボタン



2. 同じ要領で、月 → 日 → 時 → 分を設定

ひとつ前の画面に戻るには

[<] キー

次の画面に進むには

[>] キー



3. すべて設定したら

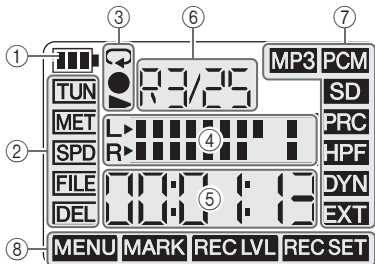
[■] (停止) ボタン
→ ホーム画面へ



NOTE

システム設定メニューで再設定できます。→ 207 ページ

ディスプレイの見かた



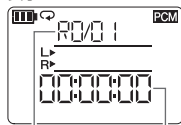
- ① 電池残量
- ② メニュー
- ③ 再生 / 録音 / リピート表示
- ④ メーター
- ⑤ 再生 / 録音時間、残り時間
- ⑥ フォルダ / ファイル番号
- ⑦ 録音設定
- ⑧ 現在のモード

ホーム画面

[■] (停止) ボタンで表示を切り替え
できます。

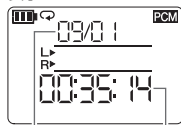


表示 1



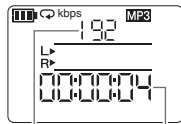
フォルダ/
ファイル番号

表示 2



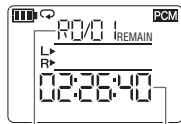
ファイルの日付
ファイルの
録音開始
時刻

表示 3



録音フォーマット
(音質)

表示 4

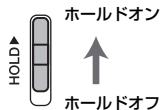


フォルダ/
ファイル番号

残り録音
可能時間

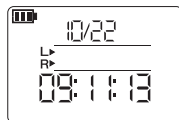
ボタン操作を無効にする

HOLD (ホールド) ス
イッチを上スライド
させる



NOTE

- ・録音中や再生中もホールドを操作できます。
- ・停止中にホールドをオンにすると、画面が日時表示になります。



録音 / 再生

録音

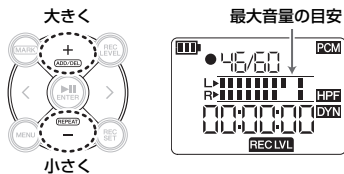
1. [●](録音) ボタンを押す
録音待機の状態になります。



2. [REC LEVEL](録音レベル) ボタンを押す



3. [+/−]キーで録音レベルを調節する
レベルメーターが振り切らないように！



4. もう一度 [REC LEVEL](録音レベル) ボタンを押して録音待機画面に戻る



5. もう一度 [●](録音) ボタンを押す
録音が始まります。



6. 停止するには [■](停止) ボタンを押す
再生位置が、録音したファイルの先頭に自動的に戻ります。

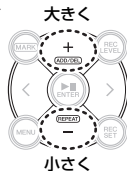


再生

1. [▶||](再生) ボタンを押す



2. [+/−]キーで再生レベルを調節する



3. 停止するには [■](停止) ボタンを押す



再生中のその他の操作

- ・ 早送り / 巻き戻し
→再生中に [< / >] キー長押し
- ・ 一時停止
→再生中に [▶||](再生) ボタン

ファイルの選択

同じフォルダーのファイルを選ぶとき



1. 停止中 / 再生中に [< / >] キーを押す

フォルダーを移動するとき
→ 196 ページ

内蔵メモリーと microSD カードを切り替えるとき

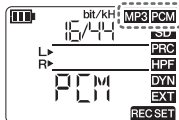
→ 196 ページ

録音フォーマット(音質)の変更

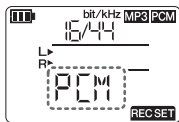
1. [REC SET](録音設定)ボタンを押す



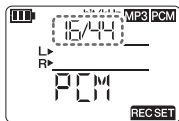
2. 録音設定メニューから[+]/[-]キーで[MP3][PCM]を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



3. [+]/[-]キーで「PCM」か「MP3」を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



4. [+]/[-]キーで音質(フォーマット)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



NOTE

PCMの場合は、サンプリング周波数(kHz)とビット深度(bit)をそれぞれ選んで決定します。

選択できるフォーマットと音質/データ容量

PCM (WAV)	kHz	96、88.2、48、44.1 (表示:88) (表示:44)
	bit	24,16
MP3	kbps	320,192,128,64,32
音質	良	←—————
容量	大	←—————

5. 変更が終わったら[■](停止)ボタンを押す
→ホーム画面へ



録音可能時間の目安

(内蔵メモリ(2GB)を使った場合)

録音モード		録音可能時間(目安)	
PCM (WAV)	24bit	96kHz	約 55 分
		88.2kHz	約 1 時間
		48kHz	約 1 時間 45 分
	16bit	44.1kHz	約 1 時間 55 分
		96kHz	約 1 時間 20 分
		88.2kHz	約 1 時間 25 分
MP3	48kHz	約 2 時間 40 分	
	44.1kHz	約 2 時間 55 分	
	320kbps	約 12 時間 45 分	
	192kbps	約 21 時間	
	128kbps	約 32 時間	
	64kbps	約 64 時間	
	32kbps	約 127 時間	

* 録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより短くなります。

* 1 ファイルあたりの最長録音可能時間(連続録音時)は上記 2GB 相当の時間です。2GB 相当の録音可能時間に達した場合は、約 2 秒後に自動的に次のファイルへの録音を始めます(microSDHC カード使用時)。ただし電池の持続時間(→211 ページ)を超えて連続録音できません。

* 残り録音可能時間は、停止中に[■](停止)ボタンを何度か押すと表示されます。

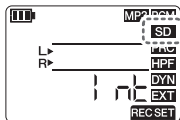
録音先の変更

内蔵メモリーと microSD カードの切り替え

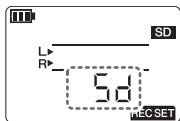
1. [REC SET](録音設定) ボタンを押す



2. 録音設定メニューから[+]/[-]キーで[SD]を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



3. [+]/[-]キーで[int](内蔵メモリー)か[Sd](microSD カード)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



4. 設定が終わったら[■](停止)ボタンを押す
→ホーム画面へ

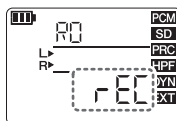
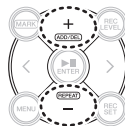


フォルダーの変更

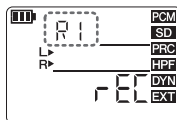
1. [MENU](メニュー)ボタンを2秒以上長押しする



2. [+]/[-]キーで[rEC](REC/録音専用)か[MSC](MUSIC/再生専用)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



3. [+]/[-]キーでフォルダー(R1, M1 など)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す

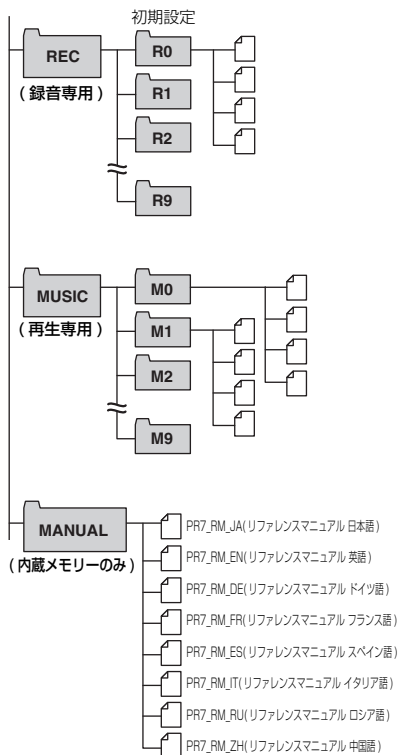


決定すると、自動的にホーム画面に戻ります。

フォルダー構成について

内蔵メモリーのフォルダー構成は次のとおりです。

microSD カードを本機に挿入すると、REC フォルダと MUSIC フォルダが自動的に作られます。



- ・ REC フォルダ
本体で録音したファイルが保存されます。
- ・ MUSIC フォルダ
コンピューターからコピーしたファイルを保存します。PCM、MP3、WMA のファイルを再生できます。再生専用のため、MUSIC フォルダにあるファイルの複製や分割はできません。
- ・ MANUAL フォルダ
リファレンスマニュアル (PDF) が保存されています。内蔵メモリーにだけ作られるフォルダです。

フォルダとファイルの制限について

フォルダとファイルには、容量や数に制限があります。

- ・ ひとつのフォルダあたりのファイル数:
最大 99 ファイル
100 ファイルめの録音を始めると、エラーメッセージ (210 ページ) を表示します。
- ・ 1 ファイルあたりの最大サイズ: **2GB**
長時間の録音でファイルサイズが 2GB を超えるときは、2 秒後に自動的に新しいファイルに切り替わって録音を続けます。

NOTE

長時間の録音をする場合は、容量に余裕のある microSDHC カードをお使いください。

ファイル形式について

本機で編集できるファイルは、本機で設定できる録音フォーマットと同じ形式のもののみです。
録音フォーマット → 195 ページ

雑音の軽減

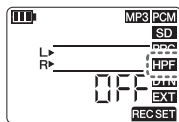
低音ノイズを防ぐ (ハイパスフィルター)

足音のノイズや、風による「ポー」という低音ノイズを軽減します。

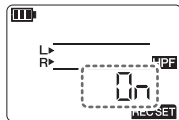
1. [REC SET](録音設定) ボタンを押す



2. 録音設定メニューから[+]/[-]キーで[HPF]を選んで[▶▶](再生) ボタンを押す



3. [+]/[-]キーで[On](オン)を選んで[▶▶](再生) ボタンを押す



4. 設定が終わったら[■](停止) ボタンを押す
→ホーム画面へ



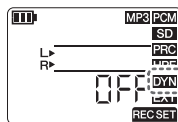
過大入力を防ぐ (ダイナミクスコントロール)

過大入力による音割れやノイズを防ぎます。

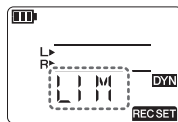
1. [REC SET](録音設定) ボタンを押す



2. 録音設定メニューから[+]/[-]キーで[DYN]を選んで[▶▶](再生) ボタンを押す



3. [+]/[-]キーで[LIM](リミッター)、[ALC HI](小さい音用)、[ALC LO](大きい音用)を選んで[▶▶](再生) ボタンを押す



4. 設定が終わったら[■](停止) ボタンを押す
→ホーム画面へ



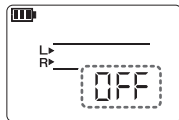
録音プリセットの選択

録音する内容によっておすすめの設定を選ぶ録音プリセットが用意されています。

1. 停止中に [REC SET] (録音設定) ボタンを 2 秒以上長押しする



2. [+]/[-]キーで録音する音声に合ったプリセットを選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



選択できるプリセット

- ・ OFF (楽器用)
- ・ bAnd (バンド)
- ・ SPEECH (会議 / スピーチ用)
- ・ FIELd (フィールド録音)
- ・ nEAr (楽器に近づけて録音 / オンマイク)

オーバーダビング (重ね録り)

ファイルに音を重ねて録音して、新しいファイルを作るオーバーダビングができます。オーバーダビング時はヘッドフォンでのみ音声をモニターできます。

1. オーバーダビングをしたいファイルを選んで状態で [OVERDUB] (オーバーダビング) ボタンを押す

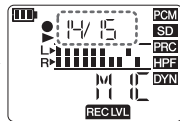
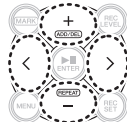
OVER DUB



2. [REC LEVEL] (録音レベル) ボタンを押す



3. [+]/[-]キーで録音レベルを、[<]/[>]キーで再生レベルを調節する



4. もう一度 [REC LEVEL] (録音レベル) ボタンを押して、元の画面に戻る



5. [●] (録音) ボタンを押す
オーバーダビングが始まります。



6. 録音が終わったら元ファイルの最後まで再生したあと [■] (停止) ボタンを押す
→ホーム画面へ



オーバーダビング中のその他の操作

[▶||] (再生) ボタン →一時停止

[●] (録音) ボタン →ダビング状態

パンチイン / パンチアウト →リファレンスマニュアルをご参照ください。

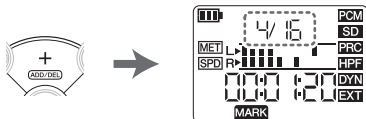
マーカーの追加 / 削除

ファイルにマーカー(目印)をつけて、曲の頭出しなどに利用できます。

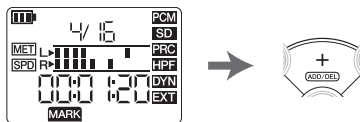
1. [MARK](マーカー) ボタンを押す



2. 停止中/再生中/録音中に、マーカーを入れたいところで [+] キーを押す
マーカー番号が追加されます。



3. マーカーを消すには、消したいマーカーの場所で [+] キーを押す



NOTE

- マーカーの削除は停止中と再生一時停止中に行なえます。
- マーカーの削除は、その位置にマーカーがあるときだけ動作します。
- 1 ファイルあたりのマーカー数は、最大 36 です。
- マーカーの前後には、2 秒以上の間隔が必要です。

リピート (繰り返し) 再生

マーカーとマーカーの間を繰り返し再生します。

1. [MARK](マーカー) ボタンを押す



2. リピート再生をしたい部分の開始位置と終了位置にマーカーを入れる



3. [<] キーでリピート再生の開始位置へ移動する



4. 停止中か再生中に、[-] キーを押してリピートを有効にする



5. リピートをオフにするには、もう一度 [-] キーを押す



NOTE

- マーカーをつけずにリピート再生を有効にすると、ファイルひとつを繰り返し再生します。

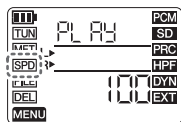
再生速度の変更

再生速度を早くしたり、遅くしたりできます。

1. [MENU](メニュー) ボタンを押す



2. [+] / [-] キーで [SPD] を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



3. [+] / [-] キーで再生速度 (パーセント表示) を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



設定範囲: 50% ~ 200%

4. 設定が終わったら [■] (停止) ボタンを押す

→ ホーム画面へ



NOTE

- 再生中に [MENU] (メニュー) ボタンを押すと、再生速度の変更のみ行なえます。
- PCM: 96kHz/88.2kHz のファイルでは、設定範囲が 50% ~ 150% になります。

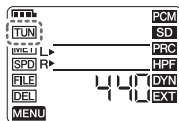
チューナー

楽器のチューニングに使用します。

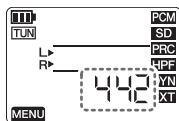
1. [MENU] (メニュー) ボタンを押す



2. [+] / [-] キーで [TUN] を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す

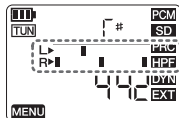


3. [+] / [-] キーで基準ピッチ (A=) を設定して [▶||] (再生) ボタンを押す



設定範囲: 430 ~ 450Hz

4. 音を鳴らしてチューニングする



← 音階

← 真ん中に合わせる

5. チューニングが終わったら [■] (停止) ボタンを押す

→ ホーム画面へ



メトロノーム

録音中に使用するメトロノームを設定します。
メトロノーム設定画面(手順 6)では、メトロノームを通常使用できます。

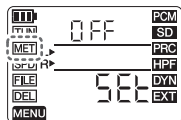
NOTE

録音時のメトロノーム音は、PHONES(ヘッドフォン)端子からのみ出力されます。

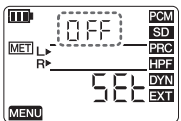
1. [MENU](メニュー) ボタンを押す



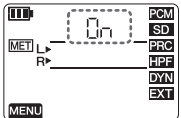
2. [+] / [-] キーで [MET] を選んで [▶|||](再生) ボタンを押す



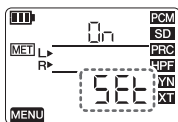
3. [>] キーで On/OFF の場所を選んで [▶|||](再生) ボタンを押す



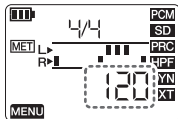
4. [+] / [-] キーで [On](オン) を選んで [▶|||](再生) ボタンを押す



5. [<] キーで [SET](メトロノーム設定) を選んで [▶|||](再生) ボタンを押す

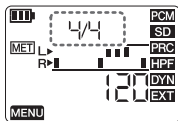


6. [+] / [-] キーでテンポの値を変更して [▶|||](再生) ボタンを押す



設定範囲: 30 ~ 250

7. [+] / [-] キーで拍子の値を変更して [▶|||](再生) ボタンを押す



設定範囲: 0/4 ~ 8/4

8. 設定が終わったら [■](停止) ボタンを押す
→ ホーム画面へ



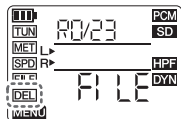
ファイルの削除

メモリーの空き容量が少なくなったり、フォルダーのファイル数の上限になったときは、ファイルを削除することで空き容量を増やせます。

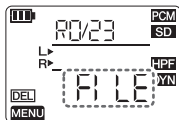
1. 削除したいファイルを選んだ状態で [MENU] (メニュー) ボタンを押す



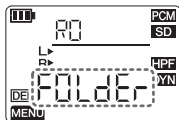
2. [+] / [-] キーで [DEL] を選んで [▶▶] (再生) ボタンを押す



3. [+] / [-] キーで、選択ファイルかフォルダー内すべてのファイルを選んで [▶▶] (再生) ボタンを押す

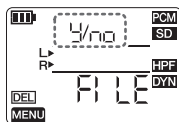


選択ファイルのみ



フォルダー内の
ファイルすべて

4. [<] キーで「y」(Yes) を選んで [▶▶] (再生) ボタンを押す



5. 終わったら [■] (停止) ボタンを押す
→ ホーム画面へ



NOTE

- 削除したファイルは元に戻せませんので、一度再生して確認するなど、慎重に操作してください。
- ファイルを削除すると、ファイル名が自動的に変更されます。ファイル名の変更ルールについては、206 ページをご参照ください。

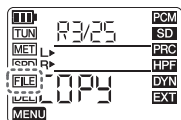
ファイルの分割

現在選択しているファイルを2つのファイルに分割できます。

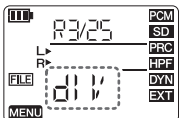
1. 分割したいファイルを再生中、分割したい位置で[▶||](再生)ボタンを押して一時停止し、[MENU]ボタンを押す



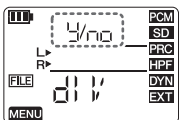
2. [+]/[-]キーで[FILE]を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



3. [+]/[-]キーで[dIV](分割)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



4. [<]キーで[y](Yes)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



5. 終わったら[■](停止)ボタンを押す
→ホーム画面へ



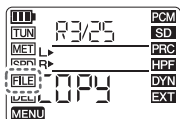
ファイルの複製

内蔵メモリーと microSD カードとの間でファイルを複製できます。

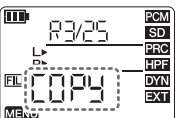
1. 複製したいファイルを選んだ状態で[MENU](メニュー)ボタンを押す



2. [+]/[-]キーで[FILE]を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



3. [+]/[-]キーで[COPIY](コピー)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



4. [<]キーで[y](Yes)を選んで[▶||](再生)ボタンを押す



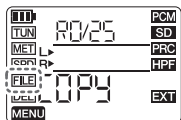
NOTE

- ファイルの分割や複製は、REC フォルダのファイルにのみ行なえます。
- ファイルの分割は、再生一時停止中か、停止中に行なえます。事前にマーカー(200 ページ)を入れておくとう便利です。
- ファイルの複製は、内蔵メモリーから microSD カードの、同じ名前前のフォルダにのみできます。microSD カードから内蔵メモリーも同様です。たとえば、内蔵メモリーの R0 フォルダにあるファイルは、microSD カードの R0 フォルダに複製されます。
- ファイルを分割 / 複製すると、ファイル名が自動的に変更されます。ファイル名の変更ルールについては、206 ページをご参照ください。

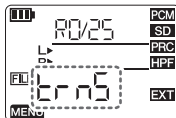
ファイルの移動

同じ REC フォルダにある別のフォルダに、ファイルを移動できます。

1. 移動したいファイルを選んだ状態で [MENU] (メニュー) ボタンを押す
2. [+] / [-] キーで [FILE] を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



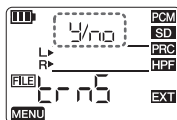
3. [+] / [-] キーで [trnS] (移動) を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



4. [+] / [-] キーで R0 ~ R9 から移動先フォルダを選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



5. [<] キーで [y] (Yes) を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



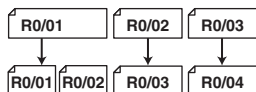
6. 終わったら [■] (停止) ボタンを押す → ホーム画面へ

**NOTE**

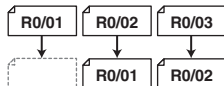
ファイルを移動すると、ファイル名が自動的に変更されます。ファイル名の変更ルールについては、206 ページをご参照ください。

ファイルの分割、削除、移動時のルール

- RO/01 を分割すると RO/01 と RO/02 となり、以降は RO/02 → RO/03 のように番号が 1 つ大きくなる



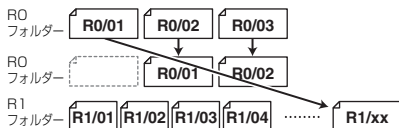
- RO/01 を削除すると、RO/02 → RO/01 のように、以降のファイル番号が 1 つ小さくなる



- RO/01 を複製すると、複製先の RO フォルダの最後のファイル番号がつけられる

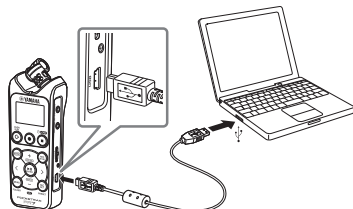


- RO/01 を R1 フォルダに移動すると
 - RO/02 → RO/01 のように RO フォルダにある以降のファイル番号が 1 つ小さくなる
 - 移動したファイルは R1 フォルダの最後のファイル番号がつけられる



コンピューターとの接続

1. 本機とコンピューターを付属の USB ケーブルで接続する

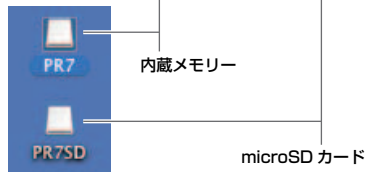


2. コンピューターに USB ストレージデバイスとして認識されたら「PR7」(内蔵メモリー)または「PR7SD」(microSD カード)をダブルクリックして開く

Windows



Mac

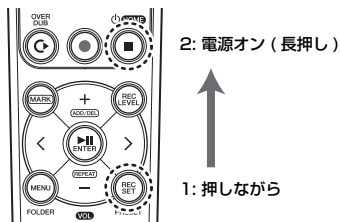


3. お使いのコンピューターの、USB デバイスの取り外し方法で取り外す

システム設定

本体の設定を変更します。

1. 電源オフの状態では、[REC SET] を押しなが
ら電源をオンにする



NOTE

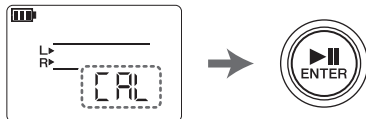
本体が起動したら、電源ボタンから指を離してください。そのまま押し続けると電源がオフになります。

2. [+] / [-] キーでシステム設
定メニューを選ぶ



カレンダーを再設定する

1. [+] / [-] キーで「CAL」(カレンダー)を選ん
で [▶||] (再生) ボタンを押す



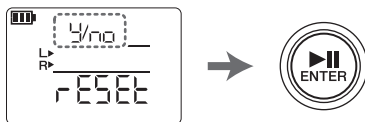
2. 192 ページの手順で設定する

本体メニューを初期化する

1. [+] / [-] キーで「rESET」(リセット)を選ん
で [▶||] (再生) ボタンを押す



2. 確認画面が表示されたら、[<] / [>] キーで
「y」(Yes) を選んで [▶||] (再生) ボタンを
押す



3. 設定が終わったら [■] (停止) ボタン
を押す
→ ホーム画面へ

NOTE

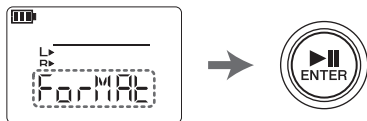
内蔵メモリーや microSD カードに保存されているデータと、カレンダー設定は初期化されません。

内蔵メモリー/microSD カードをフォーマット（初期化）する

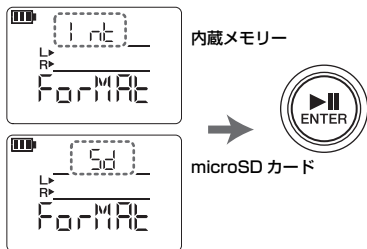
NOTE

microSD カードをはじめて使うときは、本機でフォーマットすることをおすすめします。

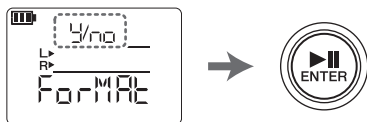
1. [+]/[-]キーで「ForMAt」(フォーマット)を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



2. [+]/[-]キーで、「Int」(内蔵メモリー) か「Sd」(microSD カード) かを選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



3. 確認画面が表示されたら、[<]/[>]キーで「y」(Yes)を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す



4. 設定が終わったら [■] (停止) ボタンを押す
→ ホーム画面へ



REC LED の点灯 / 消灯

1. [+]/[-]キーで「LEd」(LED)を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す
2. [+]/[-]キーで「On」(オン) / 「OFF」(オフ)を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す
3. 設定が終わったら [■] (停止) ボタンを押す
→ ホーム画面へ



チューナーの音階表示

1. [+]/[-]キーで「tUnEr」(チューナー)を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す
2. [+]/[-]キーで「SH r P」(# シャープ) / 「FLA t」(b フラット)を選んで [▶||] (再生) ボタンを押す
3. 設定が終わったら [■] (停止) ボタンを押す
→ ホーム画面へ



困ったときは

■ 動作しない

電池の確認 → 192 ページ

■ ボタンやスイッチが反応しない

ホールドスイッチの確認 → 193 ページ

■ microSD カードが認識されない

カードの挿入を確認 → 192 ページ

カードのフォーマット

→ [REC SET] を押しながら電源オン > [+]/
[-] キーで「ForMAT」>「Sd」>「y」(Yes)

■ 音声が聞こえない

ボリュームを調整 → [+]/[-] キー

■ 録音ができない

録音手順の確認 → 194 ページ

録音レベルの設定 → 194 ページ

メモリー空き容量不足

ファイルの削除 → 203 ページ

■ REC フォルダー内のファイルが再生できない

ファイルを MUSIC フォルダーにコピー
→ リファレンス「コンピューターからファイル
をコピーする」

■ MUSIC フォルダー内のファイルが再生できない

ファイル形式の確認 → 211 ページ

転送先の確認

→ MUSIC フォルダー

>MO ~ M9 フォルダーのどれか

フォルダー内のファイル数確認

→最大 99 ファイル

■ ファイル分割ができない

メモリー空き容量不足

ファイルの削除 → 203 ページ

■ ファイル削除ができない

読み取り専用ファイルになっている

→ コンピューターとの接続 206 ページ

> コンピューターで読み取り専用を解除

■ ファイルのコピーができない

microSD カードの挿入を確認

→ 192 ページ

■ コンピューター接続時に PR7 が表示されない

接続の確認 → 206 ページ

コンピューターの USB 端子に直接接続

■ 録音した音声中にノイズが発生している

低音のノイズを軽減する → 198 ページ

電池を交換 → 192 ページ

■ 録音した音声中に音割れが発生している

録音レベルの調節 → 194 ページ

過大入力を防ぐ → 198 ページ

■ 録音ファイルに音飛びが発生する

本体で microSD カードをフォーマットする

→ [REC SET] を押しながら電源オン > [+]/

[-] キーで「ForMAT」>「Sd」>「y」(Yes)

■ カレンダーが正しく表示されない

カレンダーの設定 → 192 ページ

■ オーバーダビングのファイルが最後まで記録されない

オーバーダビング → 199 ページ

エラーメッセージ一覧

本機の状態 (機能)	エラーメッセージ	対処方法
内蔵メモリーエラー	Int Error	内蔵メモリーを初期化 → [REC SET] を押しながら電源オン>[ForMat]>[Int]>[y](Yes) (リファレンス「システム設定メニュー」) → 初期化してもエラーが出る場合は本機が故障している可能性があります。
microSD カードエラー	Sd Error	カードの再挿入 (192 ページ)、カードのフォーマット → [REC SET] を押しながら電源オン>[ForMat]>[Sd]>[y](Yes) (リファレンス「システム設定メニュー」) → フォーマットしてもエラーが出る場合は本機や microSD カードが故障している可能性があります。
バッテリー低下	Lo bAt	新しい電池と交換 (192 ページ)
ファイルなし	no FILE	ファイルのあるフォルダーを選択 (195 ページ)
microSD カードなし	no SD	microSD カードを挿入 (192 ページ)
ファイルフル	FILE FULL	フォルダー内のファイル数が 99 未満のフォルダーを選択 (195 ページ)、 フォルダー内の不要ファイルを削除 (203 ページ)
内蔵メモリーフル	Int FULL	内蔵メモリー内の不要ファイルを削除 (203 ページ)、microSD カード に複製 (204 ページ)、コンピューターなどに移動 (206 ページ)
microSD カードフル	Sd FULL	microSD カード内の不要ファイルを削除 (203 ページ)、コンピューター などに移動 (206 ページ)
microSD カードの書き込み 遅延	REC Error	録音フォーマットを下げる (195 ページ)、microSD カードをフォー マット → [REC SET] を押しながら電源オン>[ForMat]>[Sd]>[y](Yes) (リファレンス「システム設定メニュー」) → フォーマットしてもエラーが出る場合は microSD カードが故障して いる可能性があります。
オーバーダビングのファイル 形式エラー	dUb Error	録音時に設定できるフォーマットのファイルを選択 (195 ページ)
分割対象ファイルが 2 秒以下 分割位置エラー MUSIC フォルダ選択中に [FILE] ボタン	Edit Error	2 秒以上のファイルを選択 ファイルの先頭や終端ではなく、途中を分割位置に設定 (204 ページ) REC フォルダを選択 (196 ページ)
ファイル削除エラー	dEL Error	コンピューターでファイルの属性の「読み取り専用」を解除、microSD カードの書き込み禁止を解除
マーカー追加エラー	Add Error	前後のマーカーから 2 秒以上離れた位置にマーカーを追加 (200 ページ)
録音レベル無効エラー	ALC On	DYN (ダイナミクスコントロール) を「OFF」(オフ) が「LIM」(リミッ ター) に変更 (198 ページ)
過大入力	PEAK	録音レベルの調節 (194 ページ) ダイナミクスコントロール (198 ページ)

主な仕様

対応 OS	Windows 8.1, 8, 7, Vista, XP Professional/Home Edition
	Mac OS X 10.4, 10.5, 10.6, 10.7, 10.8, 10.9
対応メディア	microSD/SDHC カード
録音形式 (対応フォーマット)	MP3 (32/64/128/192/320 kbps) PCM (WAV) (96/88.2/48/44.1 kHz, 24/16 ビット)
再生形式と対応ビットレート	MP3 (MPEG1 LAYER3, MPEG2 LAYER3): 16 ~ 320kbps WMA: 32 ~ 192kbps
	PCM: 96/88.2/48/44.1 kHz, 24/16 ビット
サンプリング周波数	16kHz ~ 96kHz
端子	USB mini B、ステレオヘッドフォン ϕ 3.5mm ミニ、 ステレオマイク (ライン入力兼用) ϕ 3.5mm ミニ、 microSD カードスロット
動作温度	+ 5℃ ~ + 35℃
電源	単 4 形アルカリ乾電池 1 本 または単 4 形ニッケル水素電池 1 本
電池持続時間 (録音)	アルカリ乾電池: MP3 64kbps 約 44 時間 PCM 44.1kHz 16Bit 約 29 時間 30 分 (録音環境: 録音 LED OFF、録音モニターなし)
電池持続時間 (再生:ヘッドフォン)	アルカリ乾電池: MP3 64kbps 約 30 時間 PCM 44.1kHz 16Bit 約 22 時間 30 分
電池持続時間 (再生:スピーカー)	アルカリ乾電池: MP3 64kbps 約 24 時間 30 分 PCM 44.1kHz 16Bit 約 18 時間
寸法	約 46.6(W) x 132.1(H) x 28.7(D) mm
質量	約 82g (電池込)
付属品	USB ケーブル、単 4 形アルカリ乾電池、取扱説明書 (ソフトウェアライセンスダウンロードコードつき)

- * 電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
- * ニッケル水素電池はアルカリ乾電池に対して電池持続時間が約 70% となります。また、電圧が異なるため、電池残量表示が正しく表示されない場合があります。なお、本体でニッケル水素電池の充電はできません。
- * 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または各お問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



(全国どこからでも
市内通話料金でおか
げいただけます)

0570-050-808

IP 電話の場合は **03-5652-3618**

受付 月曜日～金曜日 11:00～19:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 03-5652-3634

オンラインサポート

<http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



(全国どこからでも
市内通話料金でおか
げいただけます)

0570-012-808

IP 電話の場合は **053-460-4830**

受付 月曜日～金曜日 9:00～18:00
土曜日 9:00～17:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 03-5762-2125

東日本 (北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越 / 東海)
06-6465-0367
西日本 (沖縄 / 九州 / 中国 / 四国 / 近畿 / 北陸)

修理品お持ち込み窓口

受付 月曜日～金曜日 9:00～17:45
(祝日およびセンター指定休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターで
承ります。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024

大阪市此花区島屋6丁目2-82

ユニバーサル・シティ和幸ビル9F

FAX 06-6465-0374

●営業窓口

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町41-12

KDX 箱崎ビル 1F

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などは
変更になる場合があります。

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後 8 年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などを確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品（搭載プログラムを含む）のご使用により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

品名	RECORDER		
品番	POCKETRAK PR7		
※シリアル番号			
保証期間	本体	ご購入の日から1年間	
※ご購入日	年 月 日		
お客様	□□□□-□□□□		
	ご住所		
	お名前		様
	電話		()

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。

お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご依頼の際は、購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など）をあわせてご提示ください。
（詳細は下項をご覧ください）

※販売店	店名	印	
	所在地		
	電話		()

ご購入店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しいください。

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内で多次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
 - この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
 - ご購入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報、は本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
 - ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましても、本取扱説明書をご参照ください。



Yamaha Pro Audio global web site:
<http://www.yamahaproaudio.com/>
Yamaha Manual Library
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

C.S.G., PA Development Division
© 2013-2014 Yamaha Corporation

Published 04/2014 IP-C0

VQT4V69-3